

2014年6月7日

## シーメンス、ケーブルなしの超音波診断装置発売（世界初）

シーメンス・ジャパンは、検査部位に当てる探触子（プローブ）と装置本体の間をつなぐケーブルをなくし、無線通信によってデータを送る超音波画像診断装置を発売した。ケーブルのない超音波診断装置は世界初という。

従来の装置のようにケーブルの長さを気にする必要がなく、手術室や検査室のような医療機器が密集した環境でも作業が自由に行えるという。

また、手術室で使う場合、従来はプローブだけでなく、ケーブルも含めて滅菌カバーで覆う必要があった。しかし、新製品ではプローブのみでよく、しかも、完全に覆うことができるため、患者の感染リスクを低減できるという。

以上